

## 第 8 次氷見市総合計画基本構想（案）目指すまちの姿について

### 第 4 章 目指すまちの姿

#### 1 まちづくりの基本理念

---

本市のまちづくりを展望するとき、これからの 10 年間で発展の土台となる非常に大切な時期であると言えます。

そのため、市民・企業・行政等が協働して直面する様々な課題を克服し、未来につなげていくことが重要です。

わたくしたちを取り巻く日本社会全体が、厳しい変革期に入っていますが、「ひみ寒ぶり」に代表される食、海から里山まで広がる豊かな自然、定置網漁業等の先人から受け継がれてきた歴史・文化など、本市の個性を大きく花開かせながら、内外との積極的な交流・連携を展開し、市民がふるさとして自信と誇りを持ち、心のゆとりと温かみを感じて真に質の高い生活が実現できる「全国ブランドのまち・氷見」を目指します。

また、地域社会の中に色濃く残っている人と人との絆を大切にし、地域力の向上に努め、地域での新たな支え合いの仕組みを構築するとともに、すべての市民が心身ともに健康で幸せに暮らすことができる環境を整備し、安全・安心を実感できるまちを実現します。

#### 2 目指す都市像

---

（※今後検討）

#### 3 施策の体系

---

施策体系図（※別紙）

## 4 施策の大綱

本市を取り巻く時代潮流を踏まえた上で、「暮らしづくり」「人づくり」「元気づくり」「持続可能な自治体経営」の4つの基本目標を設定しました。

これに沿って、本市が進むべき方向を明らかにし、10年後の目指す都市像を実現します。

### (1) 暮らしづくり ～便利で快適な質の高い生活ができるまち～

市民の誰もが災害や犯罪などの不安がなく、住み慣れた地域で生涯健やかで幸せに暮らすことができるよう、防災・防犯体制の整備や消費者行政を推進するとともに、保健・福祉・医療サービス体制を充実します。

また、道路網、河川、上下水道、公園・緑地などの都市基盤の整備を推進し、海や里山、田園といった恵まれた自然との共生を図りながら、便利で快適な生活を送ることができる環境づくりに努めます。

#### ① 安全で安心につつまれた生活の確保

市民の生命・財産を守るため、地震等の自然災害や緊急事態に備え、迅速な情報提供・応急対策に必要な防災基盤を整備し、地域防災力の向上を図ります。原子力防災については、国や県、関係機関に、防災計画・防災指針の速やかな見直しや情報提供を求め、市民の安全を守る体制を整えます。

また、誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、消防・救急体制や防犯体制、交通安全対策を充実します。

さらに、複雑化・深刻化する消費者問題に対して意識啓発や相談体制の充実を図るとともに、食の安全や食生活の向上を図り、不安のない安全で安心な生活を確保します。

#### ② 健やかで心安らかな暮らしの充実

誰もが生涯を通して健やかに暮らすことが出来るよう、地域・職域・行政が一体となって健康づくり活動や疾病予防を推進します。

また、関係機関相互の機能分担と連携を進め、保健・医療・福祉サービスの充実を図ります。

さらに、行政・住民組織・NPO・福祉サービス事業者等の協働により、地域ぐるみで支え合うコミュニティの形成を進め、既存のサービスだけでは対応できなくなった身近な生活課題を解決するための新たな体制を確立し、住み慣れた地域できめこまかなニーズに対応したサービスを受けることが出来る仕組みをつくり、子どもや高齢者、障がい者があたたかく見守られながら、元気に活躍できるよう支援します。

### ③ 利便性の高い生活基盤の整備

機能的な生活環境を確保するため、幹線道路・生活道路、上下水道、公園・緑地などの生活基盤を整備します。

また、民間と市の適切な役割分担のもと、優良な宅地の提供や住環境の向上を図るとともに、利用しやすい地域交通の確保に努めます。

さらに、能越自動車道インターチェンジ周辺や市民病院跡地などの計画的な土地利用を推進します。

加えて、超高速ブロードバンドの整備等を促進し、あらゆる分野における情報通信技術（ICT）の一層の利活用を進めます。

### ④ 自然と調和した生活空間の創造

環境保全意識の醸成に積極的に取り組むことでごみの減量化・資源化を推進し、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築を目指します。

また、市民・企業・行政のパートナーシップのもと、豊かな自然を守り、花とみどりが市内全域にあふれるまちづくりを進めます。

さらに、海越しの立山連峰に象徴される美しい自然景観や伝統・文化など、これまで田園漁村空間博物館構想で保全・継承した「ひみの宝」を活用し、生涯を通してうるおいやすらぎを感じながら生活できる地域づくりに努めます。

## (2) 人づくり ～多様な人材が生き生きとかがやくまち～

次代を担う子どもたちが心豊かで健やかに育つよう、子育て家庭を地域・企業・行政が一体となって支援します。

また、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、質の高い教育を実施し、優れた知性、豊かな心、健やかな体のバランスが良い、自らの未来を切り拓く力を身につけた子どもを育成します。

さらに、多くの市民がスポーツや芸術・文化活動等の学習を通じて自らを向上させ、その成果を発揮しながら様々な分野で活躍し、生き生きと活動できる環境を整備します。

### ① 親子の笑顔がきらめく環境の整備

安心して子どもを産み育てることができるよう、母子保健サービスや保育サービスを充実させるとともに、企業や地域と連携・協力して仕事と育児を両立できる環境づくりを進めます。

また、地域で取り組む子育て支援活動をさらに活性化するため、指導員等の人材の確保・育成やボランティア団体等への活動支援を行うとともに、子育て支援関係者相互のネットワークの形成を図ります。

さらに、PTA等と協力し、家庭教育に関する学習・情報交換の機会等を通し、「親学び」を推進するとともに、親子のふれあいを深める取組みを充実させることで、家庭の教育力の向上を図ります。

### ② 「生きる力」を育む教育の充実

児童生徒の学習意欲の向上を促す指導方法の工夫・改善や学習内容の充実、小中連携教育の推進等に取り組むことにより、子どもたちの確かな学力の定着を図ります。

また、地域活動や社会活動等における人とのふれあいやスポーツ、文化などのクラブ活動を通して、子どもたちの豊かな人間性と健やかな心と体を育てます。

さらに、本市が誇る雄大な自然や豊かな食、地域において脈々と受け継がれてきた伝統・文化等に「触れる」機会を充実させることで、子どもたちのふるさとに対する愛着と誇りを醸成します。

これらを総合的に進めることにより、様々な問題に対し、自ら考え、理解し、行動できる力を身につけた子どもを育成します。

また、子どもたちの良好な学習環境をつくるため、学校の耐震化や学校規模の適正化等を進めます。

### ③ 学びによる生きがいの創造

市民一人ひとりが、年齢に関係なく生涯にわたり、学習を通じて新しい自己の可能性を発見し、学ぶこと自体が生きがいとなり喜びを感じることができるよう、

様々な分野における学習機会の充実、学習者支援のネットワークの形成、拠点施設の機能高度化等を図ります。

また、市民の多彩な芸術活動の支援、地域の歴史・文化遺産の継承・活用、健康づくりのための生涯スポーツの普及・啓発等に取り組みます。

さらに、市民の学びの成果を地域づくりに生かすことができる環境を整備します。

#### ④ 地域を支える市民活動の活性化

市民の社会貢献や自助・共助・公助についての意識を高め、地域づくりへの理解を深めることにより、一人ひとりの社会参加を促進します。

また、NPO、ボランティア等に関する情報提供の充実や人と活動とを結びつけるマッチング機能の強化等を図るとともに、地域が一体となった活動を促進し、市民が互いに支え合い、心が通うまちづくりを進めます。

さらに、男女が個人として尊重され、その能力を十分に発揮できるよう、あらゆる分野での共同参画を促進します。

### (3) 元気づくり ～みんなが集まるにぎやかで活力のあるまち～

本市が「食の全国ブランドのまち」として認知され、食が元気な地域経済の源となるよう、食の魅力を生かしたまちづくりを進めます。

また、地域に根ざした産業を着実に発展させ、起業・創業などの新しい芽を育むとともに、多様な分野での企業立地を進め、安定した雇用を確保します。

さらに、市民が地域の魅力を再認識し、大切に守り育てることで愛着や誇りを持ち、住み続けたいとなるとともに、だれもが住みたいとなるようなまちを目指します。

同時に、観光地としての魅力を向上させることなどにより、交流人口の拡大による地域活力の創出を図ります。

#### ① 氷見の食・ブランドの確立

市内の農業・水産業、製造業、観光業・飲食業等が連携し、氷見の食を核としたビジネスを展開します。

また、交流拠点であり、まちの顔となる食文化発信施設を整備します。

さらに、全国ブランド「ひみ寒ぶり」などのブランド力の一層の強化を図るとともに、安全・安心で品質の良い地域ブランドを創造、確立して広くPRし、販売ルートを拡大します。

食の氷見ブランドの総合力を高めることで、地域イメージの向上とまち全体のレベルアップを図ります。

#### ② 地域特性を生かした産業の振興

農林水産業を魅力的で力強い産業にするため、地消地産や6次産業化等の高付加価値化の取組みを進めるとともに、担い手の育成や経営基盤の強化を図ります。

また、産学官や農商工のネットワークを活用しながら、中小企業等の商品開発や人材育成を支援します。

さらに、まちなかの賑わい創出のため、商店街でのユニークなイベントの開催や新規出店の支援などに取り組み、地域経済の活性化と雇用の創出を促進します。

#### ③ 競争力の高い魅力ある観光都市の形成

観光に関する地域間競争が激化する中、観光ニーズを敏感に捉え、食文化や自然、産業などの地域資源を磨き上げ、観光都市・氷見ならではの農林水産体験、まんがや映画など、テーマ性やストーリー性のあるツーリズムを展開します。

また、整備が進展する高速交通基盤を活用した広域連携、インバウンドや滞在型観光の充実を図るとともに、幹線交通網からの二次交通の整備に取り組みます。

さらに、地域全体でのもてなしの向上によるリピーターの確保など、経済波及効果をもたらす戦略的な観光を振興します。

#### ④ 将来に夢が持てる雇用の創出

若者が、安心して、家庭を持ち、子どもを産み育て、生活していくことができるよう、優良企業の誘致や既存企業の育成を行い、雇用の場を創出します。

また、氷見の良さに魅せられた人や生まれ育った氷見に帰りたいと思う人が市内で働き、暮らすことができるよう、求職情報やU I ターン情報の提供、就職斡旋体制の充実などの就労支援を行います。

#### ⑤ 多様で活発な交流の促進

本市の魅力を高めるとともに、スポーツ交流や姉妹都市交流、経済交流などを通じて他の地域と幅広く交流を深めていくことで、氷見の良さを理解してもらい、「また来たい。ここに住みたい。」と思えるまちを目指します。

また、市内に在住する外国人や仕事などで来訪する外国人との交流の機会づくりを推進するなど、身近な国際交流を進め、相互理解に努めます。

#### (4) 持続可能な自治体経営 ～地域主権時代に対応した自立したまち～

地域主権改革により基礎自治体としての本市の権限と役割が拡大するなか、限られた経営資源（人、物、財源、情報等）を有効に活用し、自らの判断と責任による「氷見らしいまちづくり」を展開します。

また、行政だけでなく、市民、NPO、企業等が積極的に公共的サービスの提供主体となって様々な分野で活躍する「新しい公共」の意識の浸透を図り、各地域での互いの強みや資源を生かした協働の取組みを促進します。

さらに、本市単独では解決が困難な課題に対応するための周辺団体との広域連携等を進めます。

##### ① 誰もが主役のまちづくりの推進

市民一人ひとりが尊重され、NPOや企業など、多様な主体がまちづくりの主役として積極的・主体的に参加する「協働のまちづくり」の実現を目指します。

また、協働を基本としながらも、それぞれの役割と責任のもとに地域のことは地域自らが決めて実行していく地域自治の確立を図ります。

##### ② スリムでわかりやすい行政の実現

市民が必要とする情報をわかりやすく迅速に提供する広報・広聴活動を推進するとともに、事務の効率化・高度化のための総合行政情報システムを活用した行政サービスの充実を図ります。

また、社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確かつ柔軟に対応した各種施策を推進していくため、市政運営の土台となる財政基盤の強化を図るとともに、中長期的な視点に立った財政の健全運営に取り組みます。

さらに、機動性と柔軟性の高い効率的な組織体制を確立するとともに、活力ある組織の原動力となる人材の育成を進めます。

##### ③ 周辺団体や国・県等との連携強化

周辺団体、国・県、関係機関等とのこれまでの連携体制を強化するとともに、防災、観光、教育など、様々な分野における従来の枠組みを超えた新たな相互協力によるスケールメリットを生かした広域連携等について積極的に検討し、さらなる効率的、効果的な行政サービスの提供を図ります。